



資料1-2

新しい集出荷クラウドシステムで JA様の集出荷販売業務をDX



第4回官民合同タスクフォースnimaruご説明資料 株式会社kikitori



会社名株式会社kikitori所在地〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目2番1号 住友不動産虎ノ門タワー19階代表者代表取締役 上村聖季設立日2015年3月27日決算期2月資本金100,000,000円 (資本準備金を含む)従業員数42名 (パート・アルバイトを含む)電話番号03-6277-7833事業内容農業分野向けアブリケーションシステムの開発・運営農業現場のシステムコンサルティング果実小売・加工店舗の運営(都内2店舗)(※東京豊島中央卸売市場の買参権を有する)取引先全国の卸売事業者、農業協同組合、産地商社 他		
所在地 住友不動産虎ノ門タワー19階 代表者 代表取締役 上村聖季 設立日 2015年3月27日 決算期 2月 資本金 100,000,000円(資本準備金を含む) 従業員数 42名(パート・アルバイトを含む) 電話番号 03-6277-7833 事業内容 農業分野向けアプリケーションシステムの開発・運営農業現場のシステムコンサルティング果実小売・加工店舗の運営(都内2店舗)(※東京豊島中央卸売市場の買参権を有する)	会社名	株式会社kikitori
設立日 2015年3月27日 決算期 2月 資本金 100,000,000円(資本準備金を含む) 従業員数 42名(パート・アルバイトを含む) 電話番号 03-6277-7833 事業内容 農業分野向けアプリケーションシステムの開発・運営 農業現場のシステムコンサルティング 果実小売・加工店舗の運営(都内2店舗) (※東京豊島中央卸売市場の買参権を有する)	所在地	•
決算期 2月 資本金 100,000,000円 (資本準備金を含む) 従業員数 42名 (パート・アルバイトを含む) 電話番号 03-6277-7833 事業内容 農業分野向けアプリケーションシステムの開発・運営農業現場のシステムコンサルティング果実小売・加工店舗の運営(都内2店舗)(※東京豊島中央卸売市場の買参権を有する)	代表者	代表取締役 上村聖季
 資本金 100,000,000円 (資本準備金を含む) 従業員数 42名 (パート・アルバイトを含む) 電話番号 03-6277-7833 事業内容 農業分野向けアプリケーションシステムの開発・運営農業現場のシステムコンサルティング果実小売・加工店舗の運営(都内2店舗)(※東京豊島中央卸売市場の買参権を有する) 	設立日	2015年3月27日
 従業員数 42名 (パート・アルバイトを含む) 電話番号 03-6277-7833 事業内容 農業分野向けアプリケーションシステムの開発・運営 農業現場のシステムコンサルティング 果実小売・加工店舗の運営(都内2店舗) (※ 東京豊島中央卸売市場の買参権を有する) 	決算期	2月
電話番号 03-6277-7833 事業内容 農業分野向けアプリケーションシステムの開発・運営 農業現場のシステムコンサルティング 果実小売・加工店舗の運営(都内2店舗) (※ 東京豊島中央卸売市場の買参権を有する)	資本金 	100,000,000円(資本準備金を含む)
事業内容 農業分野向けアプリケーションシステムの開発・運営 農業現場のシステムコンサルティング 果実小売・加工店舗の運営(都内2店舗) (※ 東京豊島中央卸売市場の買参権を有する)	従業員数	42名(パート・アルバイトを含む)
農業現場のシステムコンサルティング 果実小売・加工店舗の運営(都内2店舗) (※ 東京豊島中央卸売市場の買参権を有する)	電話番号	03-6277-7833
取引先 全国の卸売事業者、農業協同組合、産地商社 他	事業内容	農業現場のシステムコンサルティング 果実小売・加工店舗の運営(都内2店舗)
	取引先	全国の卸売事業者、農業協同組合、産地商社 他

会計・税務事務所	SBCパートナーズ税理法人
顧問弁護士事務所	プロコミットパートナーズ法律事務所
ウェブサイト	https://kikitori.jp
所属団体	一般社団法人全国青果卸売市場協会(参助会員) 市場流通ビジョンを考える会(役員幹事) JA-DX推進研究会(サポーター企業)

ミッション

農とテクノロジーを通じて世界中の人々を笑顔にする

農業の持つ可能性をテクノロジーの力で最大限に引き出し、活かすことで世界中の人々が笑顔で幸せな社会を実現したい。そんな想いを胸に、私たちは新しい農業の形にチャレンジしています。



青果、花卉、鮮魚の主要な市場関係者が100社以上参加する業界団体の役員幹事として、流通及び販売の在るべき姿を日々考えながら事業に取り組んでいます。





今年度より、大手スーパー5社(東急・サミット・マルエツ・ヤオコー・ライフコーポレーション)を中心に15社が参加するSM物流研究会との会議体を設置。流通に関わる様々な業界関係者との取り組みを進めています。



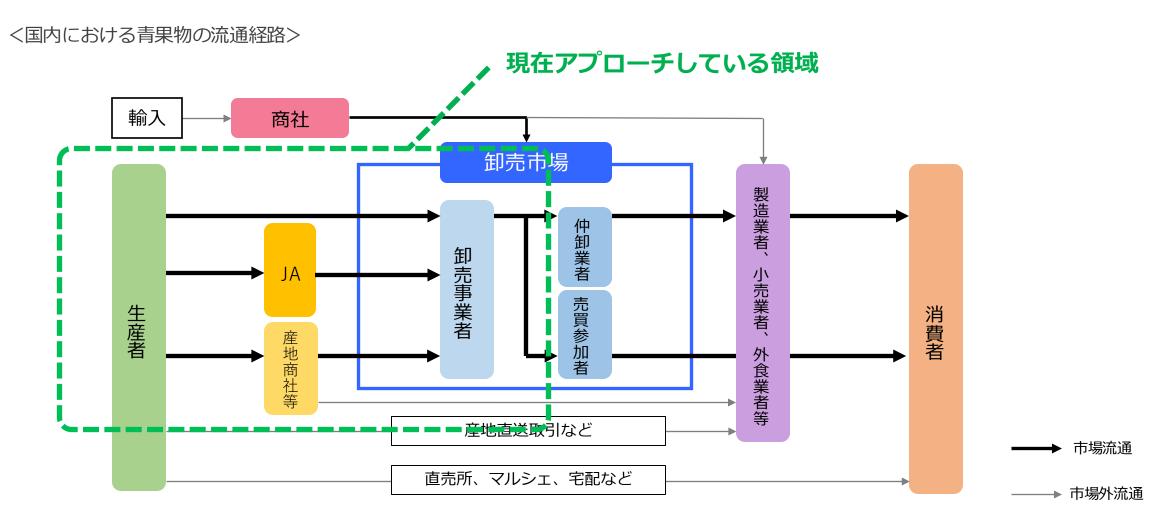
JA様におけるDXの全体像の構想を持ちながら、各取組みにおいては徹底した現場主義により 実際にサービスを利用される現場の皆様にとって『痒いところに手が届くシステム作り』を実現しています







デジタル化が遅れている川上・川中領域における流通現場のデジタル化、流通のデータ化に取り組んでいます





『nimaru(ニマル)』は、生産者やJA、市場(卸売会社)など農産物の取引を行う事業者の間で 集出荷データ連携が可能な新しい業界のデータプラットフォームです



<卸売会社他> +運送事業者







実質的に委託流通が中心の国内流通において

市場流通の約6割を占めるJAから(系統出荷)の出荷情報のデジタル化に対するニーズが業界全体で強い

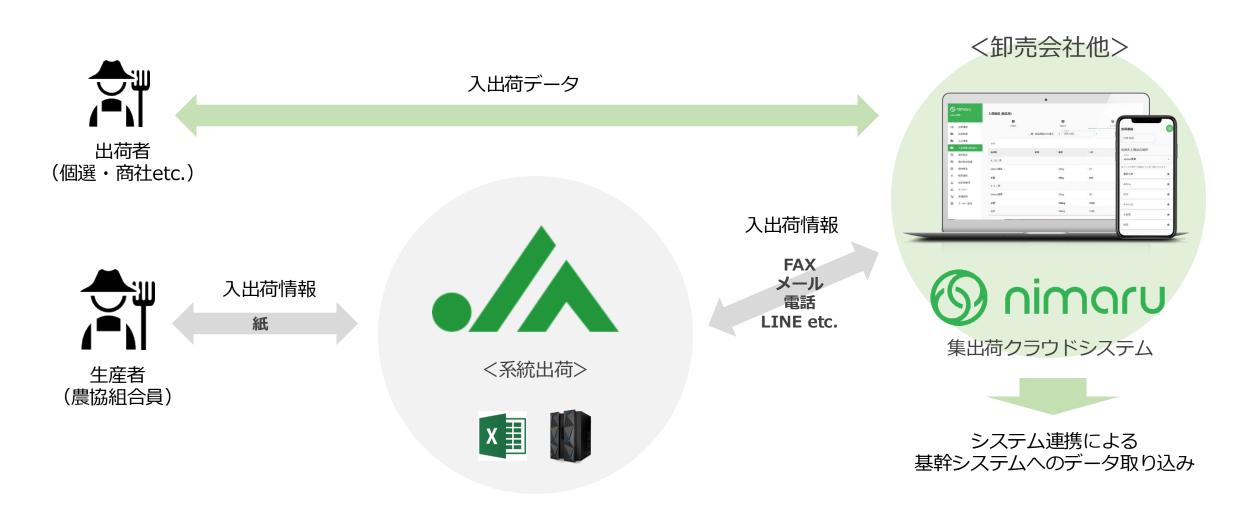
系統出荷の情報のやり取りを デジタル化してほしい



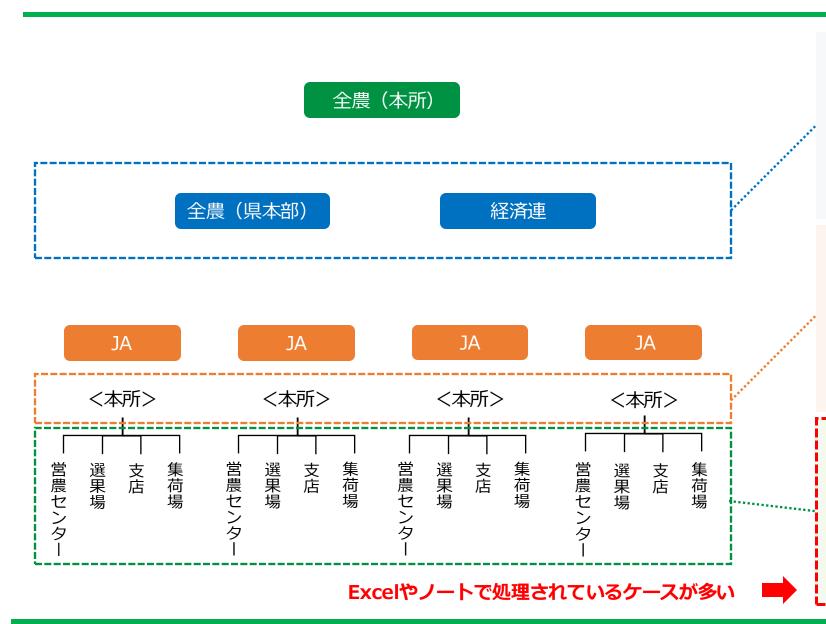
<市場(卸売会社)>



流通において大きな役割を果たすJAが、農産物流通におけるデジタル化のボトルネックの一因となっている







<対象> <提供者>

県本部、経済連 全農園芸部(本所)、電算センターなど

〈システム内容〉

全農県本部、経済連における基幹システム(入荷、販売、在庫、 精算、債券管理 etc.)

<システム例>

園芸共通システム、園芸パッケージ、その他

<対象> <提供者>

JA(県域) 各都道府県の農協電算センターなど

<システム内容>

JA(県域)における基幹システム(入荷、販売、在庫、精算、 債券管理 etc.)

<システム例>

各都道府県、地域、事業者ごとに異なる

<対象> <提供者>

JA(集荷拠点) 全農園芸部(本所)、電算センターなど

〈システム内容〉

集荷拠点における集出荷管理システム(入荷、分荷、出荷、 帳票作成 etc.)

<システム例>

地域ベンダーの個別システム









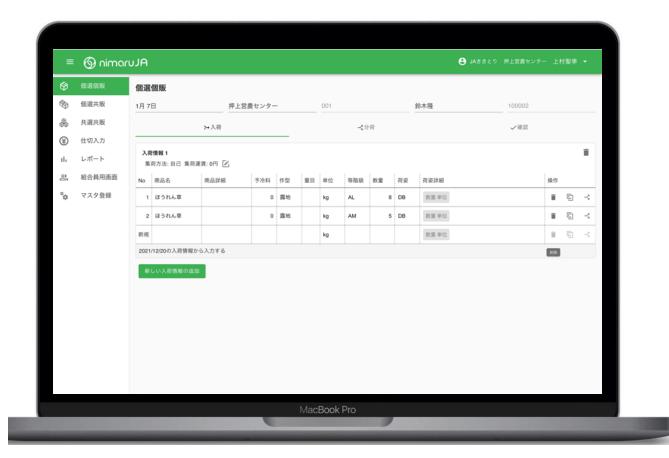








JAの組合員や出荷先事業者、運送会社などJAの販売に関わる様々な事業者と繋がり現場業務のデジタル化が実現できる新しい集出荷クラウドシステム『nimaruJA』を2022年にリリース

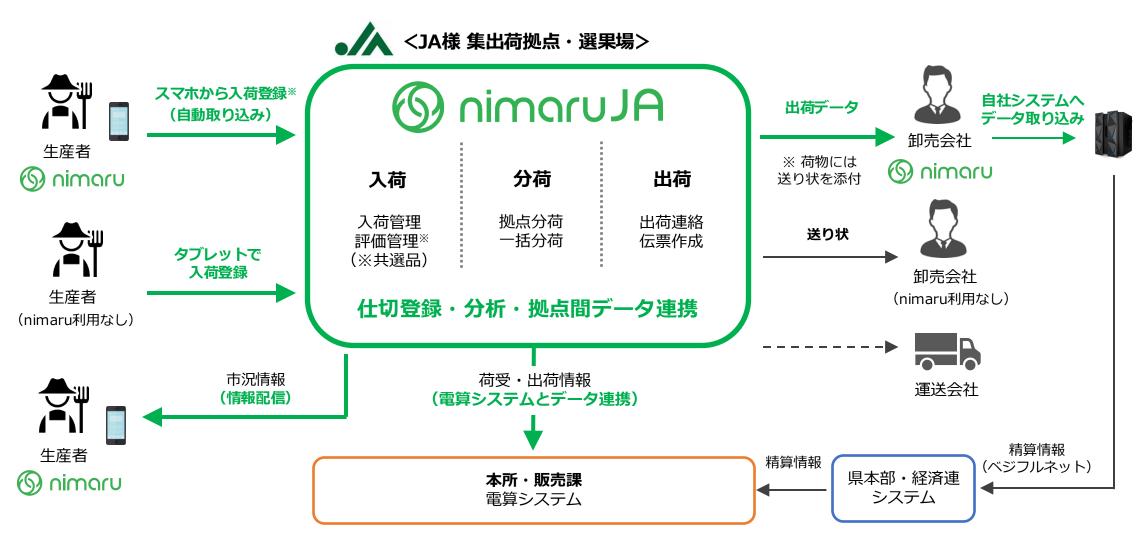


< nimaru の 5つのポイント>

- ① 組合員や出荷先、運送会社とのデータ連携。荷受や販売業務にかかる職員様の負担を大幅削減
- ② 拠点間での情報共有と現場業務の見える化
- ③ 既存の電算システムとの連携が可能
- ④ 使い勝手の良い操作性(最新のWeb技術による UI/UX)
- ⑤ クラウドサービスで低コスト&手軽な導入・運用が可能



生産者や出荷先など取引事業者間でのデータ連携により販売現場のデジタル化を実現





これまでのシステムとは異なる手軽な利用体験により、全国の生産者様から高い評価を頂いています。







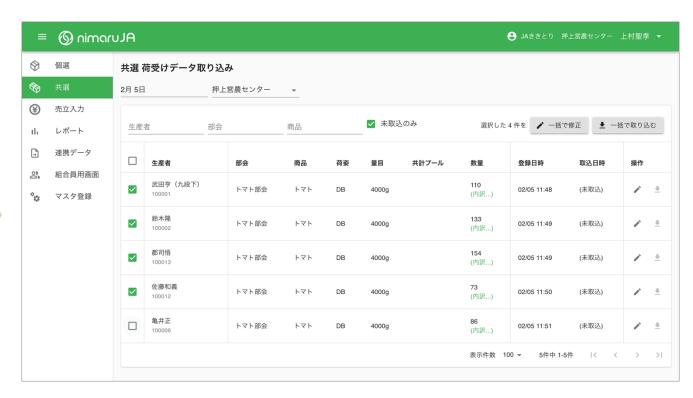






幅広い年齢層の組合員にご利用いただける様々な工夫を通して荷受業務の省力化が可能です。 従来通りの紙による荷受もまとめて処理が可能なため二度手間にもなりません。

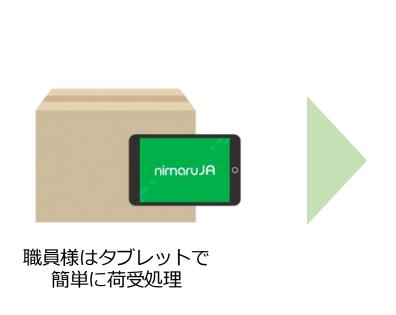




事業者様にて組合員ごとに事前に出荷商品及び規格のカスタマイズが可能なため 組合員様側で煩雑な選択の手間がなく、高齢の組合員様でも簡単に出荷数量の登録ができます



荷受の結果を組合員へタイムリーにフィードバック。組合員はスマホーつで過去の出荷履歴を管理できます









荷受時の荷物の写真なども手軽に共有ができるため、組合員とのコミュニケーションをスムーズに行えます



クラウドの活用で場所や時間、端末を問わず分荷(出荷割当て)作業が可能です

S nimoru JAききとり 押上営農センター		キャベツ ①													分荷		
		▲ 入荷・前日在庫合計と分荷・当日在庫の合計値が一致していません。 印刷 ① 入荷表 □ 出荷表 → 入荷表 / 出荷表 📋 送り状													ステータ		
上村聖		分荷														«	
8	個販		A3L	A2L	AL	AM	AS	В									
	共販		入数なし	入数なし	入数なし	入数なし	入数なし	入数なし	小計								
	共選	入荷・前日在庫合計 ∨	392	349	531	126	104	373	1875					-			
⋵	出荷申込	分荷合計	300	170	270	100	70	220	1130					_			
=	出荷予定	未割当	92	179	261	26	34	153	745	一招	一括在庫割当						
€	売立入力	ききとり中央青果	120	100	120	50	50	200	640	8	2	•	>				
ılı	レポート	西船橋青果	100	50	50	30			230	8	2	ē	(B	_			
	連携データ	行徳青果		20	100	20	20	20	180	8	2	ē	6				
<u>ି</u>	生産者用画面	浦安青果	80						80	8	2	•	1				
>	お知らせ配信●	葛西中央青果							0	8	2	ē	(B	_			
°¢	マスタ登録	木場青果							0	8	2	ē	1 1 1	_			
=	ダッシュボード	日本橋青果市場							0	8	2	ē	ıB	-			
<		当日在庫							0		2						

各拠点の業務(入荷登録、分荷、帳票出力等)を様々な場所・端末から行って頂くことが可能です (拠点一括分荷機能などJA様の集荷・販売業務の最適化、最大化につながる様々な機能を実装しています)





手書き・手入力作業の削減

生産者から送られる荷受データの取り込みにより、紙の個票の入力作業を削減。電算システムへのデータ取り込みにより、事務スタッフの人件費削減、配置転換が可能です。





入出荷情報の素早い収集・共有に よる有利販売・最適な物流の実現

入荷情報を荷物の入荷前に把握ができることで事前の販売組み立てをサポート。分荷した出荷明細情報はボタン一つで出荷先へデータ送信。有利販売や最適な物流を実現します。



通信費・紙代の削減(ペーパーレス化の推進)

現場で使用される膨大なFAXの通信費や複写式個票・送り状の費用が不要となります。加えて、紙の管理や紛失リスクなども防止することができます。





職員の働き方改革

クラウドの仕組みにより、場所や端末に制約を受けない職員の柔軟な働き方をサポート。 休日出勤や拠点間、出張先からのFAXや紙による情報連絡をなくします





事務ミスの防止

生産者から送られる荷受データ取り込みにより、入力の際の生産者の選択ミスや転記ミスによる誤精算のリスクを防ぎます。強固な現場のコンプライアンス体制が構築できます。





組織

業務の属人化防止

業務の情報は全て組織内で共有される仕組みのため、特定の職員に依存しない組織を実現。 業務の各種見える化により、個人の経験や能力に頼りすぎない業務の標準化を実現します。



生産者も巻き込み、ぶどうを中心とした集出荷オペレーションを改善 事務効率化を大幅に改善し、1日4時間の業務を削減!

● 導入事業者:晴れの国岡山農業協同組合

●職員数:3,160名

●導入日: **2024年4月~**



集出荷業務が紙の業務が非常に多く、繁忙期には1日の半分以上を使い入力 作業が発生。特に連休明け等には更に膨大な入力作業が必要な状態に。

検品を部会員当番制で実施する中で、協力を得て取り組みを実施! 1週間程度ですぐに慣れていただき、問題なく取り組みをスタート。

県の電算システムとを連携することで、**入力作業が1日30分に短縮!** 紙の集計作業等もなくなることで**ミス、間違いも防止!**

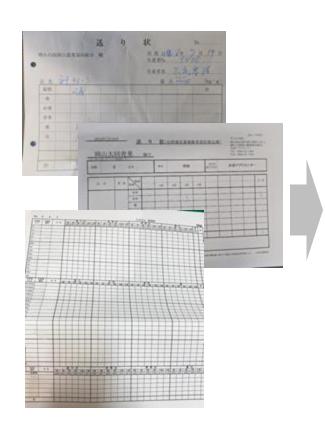
これまで後日お渡ししていた**選果結果を自動で即日デジタルFB!** 組合員さんからも「**次の栽培や出荷の参考になる**」という好評の声

情報配信も同時に活用を進めこれまで連絡員経由で、 1週間かかっていた情報がリアルタイムに配信可能に!

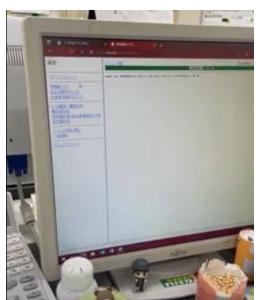


導入前

荷受時の紙伝票を販売システムにパンチ入力



4時間以上

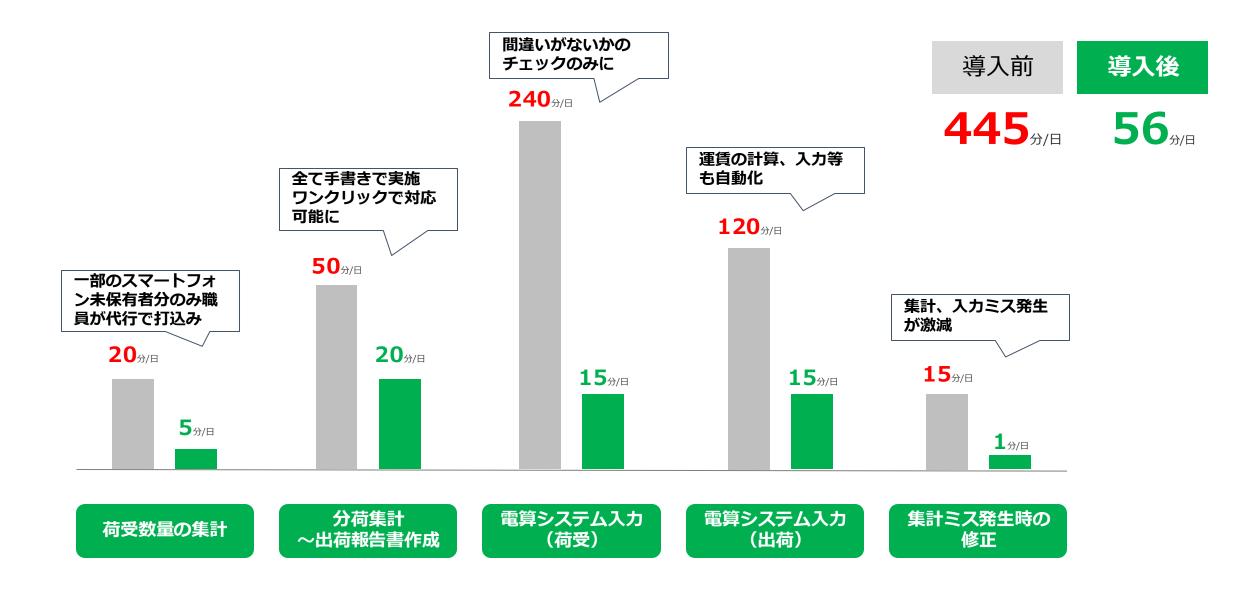


導入後

データをダウンロードし、インポートするだけ









組合員とのコミュニケーションのデジタル化の取り組みと効果



【導入前】

- ・桃の部会では瀬戸・山陽・赤坂の3支店で合計380人の部会員
- ・各支部から選ばれた代表の連絡員が1人約30名の部会員さんの自宅へ巡回ながら書類の配布を実施
- ・例えば桃の選果機の稼働日を連絡する際に、部会員さんの手元に情報が届くまで1週間近くかかっていた
- ・手間がかかることもそうだが、早くから選果機を稼働できるのに期間が短くなる、地域によっての時間差による不公平さが顕在化

【導入後】

- ・郵送案内のみで1カ月で約70%の生産者様が登録に成功
- ・課題だった桃の選果機の稼働スケジュール案内をすぐに伝達
- ・営農情報等もリアルタイム配信を実施し、営農指導を強化!
- ・今後、90%の登録を目指し、案内を強化中!



事務処理にかかる時間が半減

捻出した時間で**営農指導にかける時間が大幅に増え**生産者との接点強化を実現

● 導入事業者: めぐみの農業協同組合

●職員数:**1,296名** ●導入日:**2024年2月**



精算ミス防止のチェック項目が増えていき、何重もの確認が必要な状態に。 **生産者への支払いも今までよりスピーディーに**。

集出荷機能の活用により、**荷受・分荷・精算の事務処理にかかる時間** を大幅削減。転記の事務作業が不要となり効率化を実現。

導入により役割分担を再構築したところ、営農指導員は本来の業務に専念することができ、圃場巡回の頻度も大幅に増え、

週2~3回訪問可能な体制づくりを構築。

21

導入から1か月でいちご部会は100%の生産者連携率を実現。

事例: JAめぐみの様 生産者様の声



ご利用者:いちご部会 部会長 日比野様

毎日20分の伝票手書きの時間から解放されました。 導入前は部会員からも新たなデジタル化の取り組みに不安な声もありましたが、稼働後はLINE連携100%を実現できており、ベテランの 部会員も取り組めています。

JA:JAめぐみの 加藤課次長様

初めは反対意見もありましたが、使ってみることで多くの方に喜んでいただいています。ご高齢な生産者ほど活用されているケースもあり、他の部会の評判を聞きつけた方から早く自分の部会でも導入して欲しいとご要望をいただくこともあります



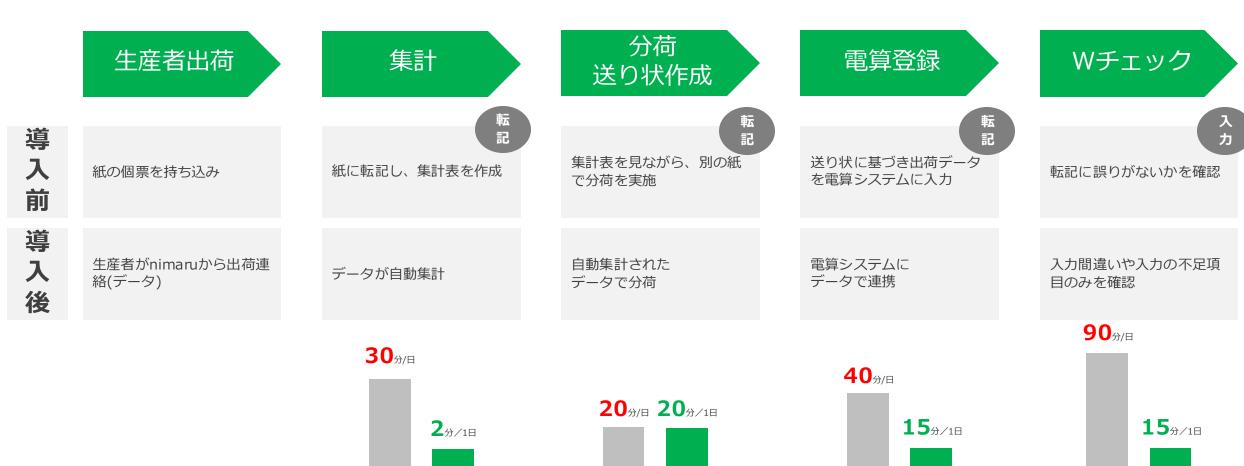


導入前は転記〜入力が各所で発生し、ダブルチェック項目が増加 導入後は出荷連絡からデータを一元的に活用することで一気に業務を改善 導入前

導入後

180分日

56分日





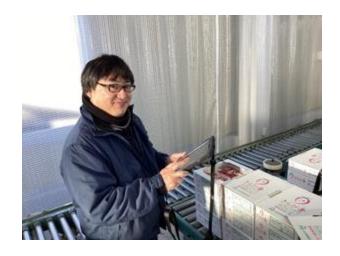
100分の集出荷作業がわずか5分に!

アナログな集出荷現場の改革を実現!

● 導入事業者: ハイナン農業協同組合

●職員数:358名

●導入日: **2022年11月**



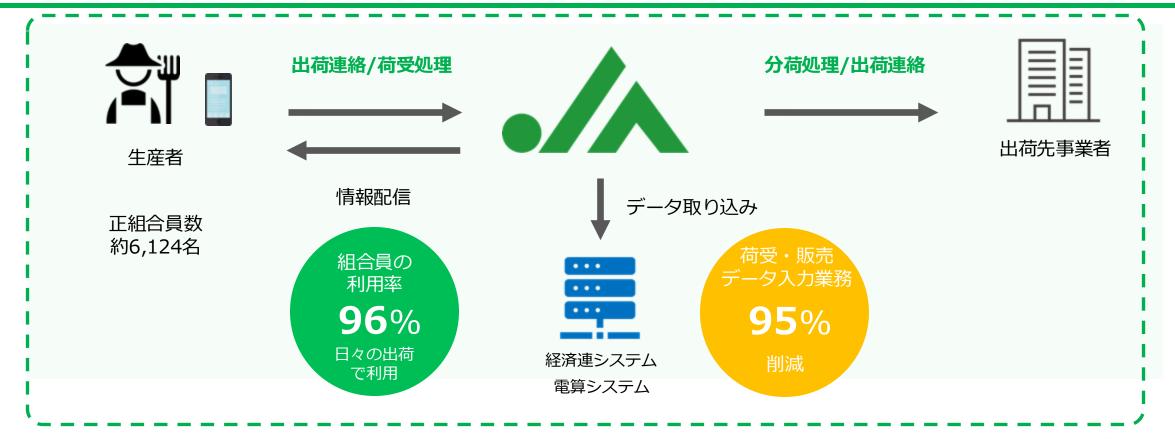
生産者が荷物と一緒に持ち込んだ出荷伝票をもとに、職員が基幹システムへの荷受入力を実施、時間が1日100分程度かかっていた 手作業の為、清算ミスも一部で発生してしまっていた

一部部会からスタートし、いちご部会では説明会を実施することで **全員が登録が完了**

電算センターとのデータ連携も実施することで、 nimaruのデータを自動で電算システムにも連携

情報配信によって、営農や販売状況の配信の効率化にも活用





<利用機能> : 生産者によるスマホからの荷受登録・JAによる検品・評価・電算システムへの取り込み・出荷先への出荷データ

送信・組合員向けお知らせ配信

<利用開始月> : 2022年12月~

<利用品目> : いちご、いちじく、レタス他、順次取扱品目を拡大中

〈導入目的〉 : 荷受業務の負担削減、職員の働き方改革、分荷・販売業務の負担削減

くその他> : 静岡県農協電算センター様を契約窓口としてnimaruJAを県内JA様へのご提供





生産者向け説明会

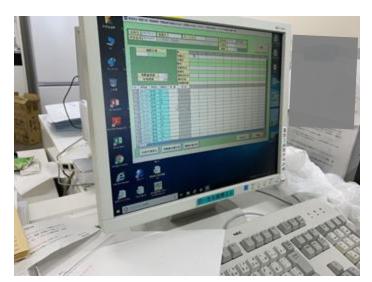


nimaruJAを使った検品作業



クラウドを活用した荷受状況の確認





電算システムへのデータ取り込み





県域JAや主要市場、行政を中心とした業界関係事業者との連携により、都道府県単位での案件を推進中

JAグループ

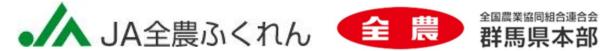
(集出荷・コミュニケーションツールでの県域・全国域での取組)

全 農 ZEN-NOH

● 岐阜県JAグループ

食と農を未来へつなぐ。

集出荷







愛媛県本部



静岡県農協電算センター人 JAグループ岡山





市場

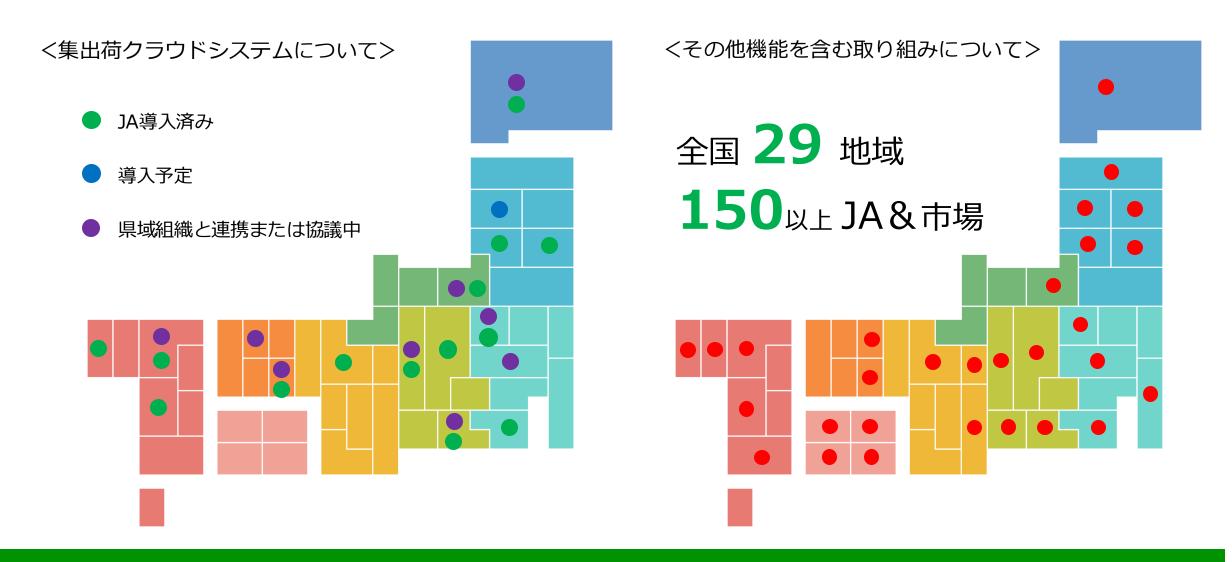
全国70以上の 卸売事業者による 電子伝票受取

自治体

群馬県、熊本県 三重県など



JAや卸売市場を中心とした全国の事業者様に導入をいただいております





JAの出荷情報をより早く、よりお手軽に出荷先事業者へ共有することで 出荷情報のデータ連携及び有利販売を促進します



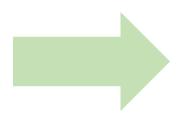




② 荷受の手入力不要!

入荷・販売・仕切情報の 県内共通システム(電算システム) への取り込み

MARUNAKA



① FAX不要!

出荷データ連携





③ 荷受の手入力不要!



クラウドサービスにより 社内・チーム内で スマホでお手軽共有

手軽なシステム連携による 基幹システムへの荷受データの取り込み



FAXや電話連絡に変わる新しい情報インフラとしてご活用いただけます

<JA様>





分荷を行ったタイミングで出荷先へ出荷明細のデータ共有が可能です。 FAX等での送付は必要ありません。 <出荷先事業者>

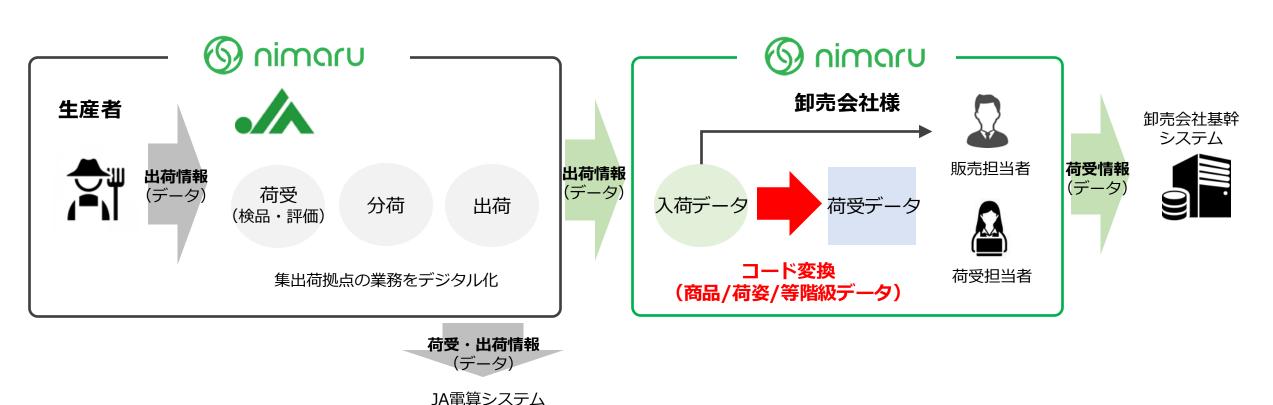




LINEまたはLINE WORKS からご利用頂けます



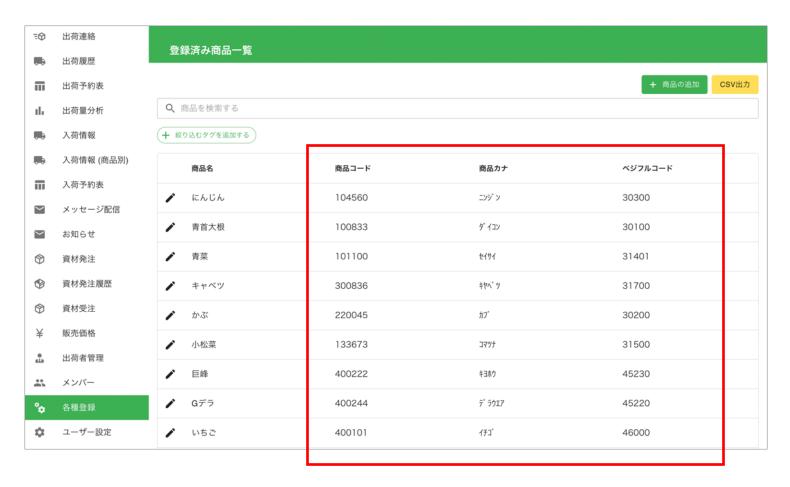
産地から送られてくる出荷データを卸売会社様の販売システムで活用できる形にnimaru上で変換が可能です



クラウドの仕組みにより情報の共有や全ての処理がスマホやタブレット、PCで可能



卸売会社様は、nimaruに販売システムのマスタ情報の登録が可能です

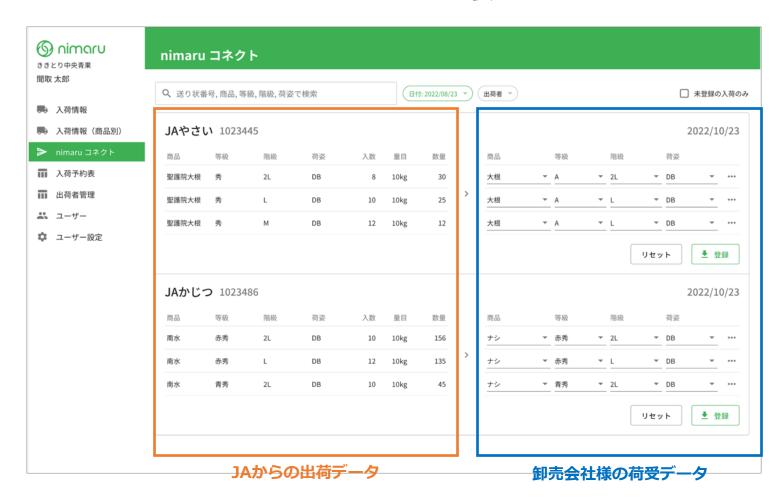


基幹システムとの連携の際にキーとなる情報を柔軟にマスタに紐付けすることが可能です



荷受担当者様は、nimaru 上で自社システムの商品、等級、階級、荷姿への変換が手軽に可能です

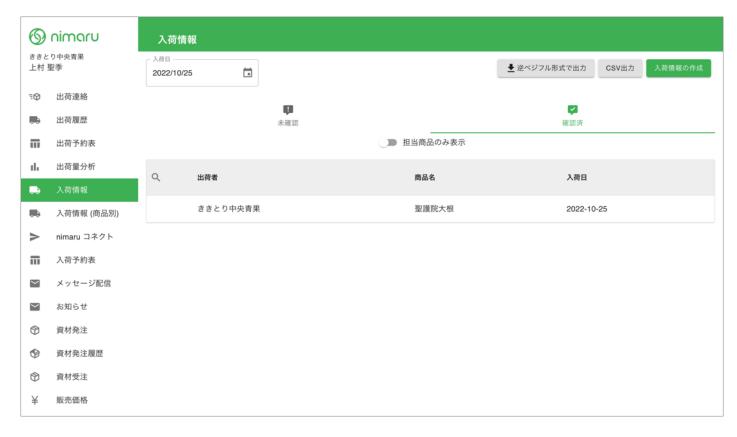


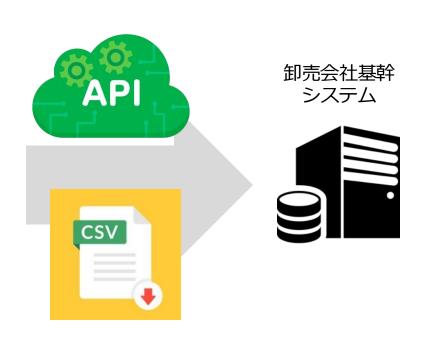


営業担当者様は、JAから受け取ったオリジナルの荷受情報(販売業務用)を確認することも可能です



変換後のデータを逆ベジフル、nimaruフォーマット、csvの形式で出力、データ連携が可能です





荷受事業者側 nimaru



専用サイトにて各種API及び連携フォーマットの情報などを公開しています





<nimaru連携ドキュメント> https://docs.nimaru.jp/



出荷者(産地)とのデータ連携により、卸売会社における荷受業務の省力化、及び標準化が実現できます

初回入荷時

荷受毎にフォーマットの異なる紙やFAXの送り状から登録項目探して、それぞれ 該当する自社システムのマスタを選択し、一つずつ手入力していく。







紙・FAX



このJAの商品Aはうちのシステムの 商品A'で、等級○は○、階級8Mは 8玉で、荷姿は・・・

その他、数量、入数、量目などを手入力

2回目以降

同じ荷受登録作業を毎日荷受入力担当者が繰り返す









初回入荷時

出荷明細をそれぞれ同じ形式でデータで受け取り。新しい情報はnimaru上で必要 項目を手軽にマッピング。数量や入数、量目などの手入力作業も発生しません。





nimaru上で整理された情報の各項目を 手軽にマッピング

その他、数量、入数、量目などは自動入力

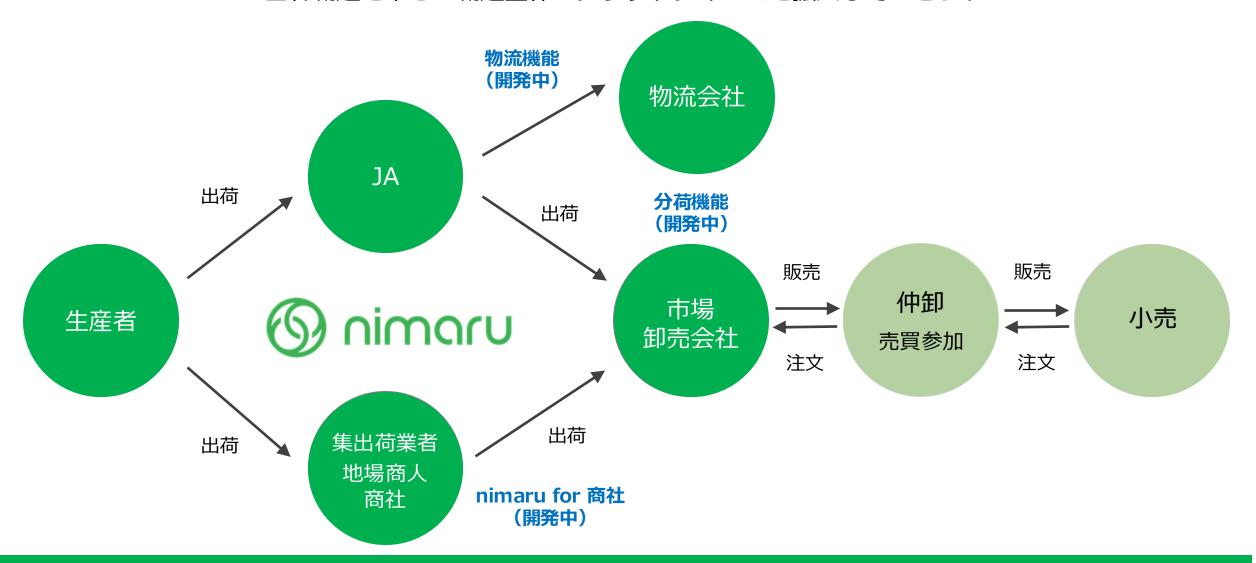
2回目以降

一度マッピングされた情報は2回目以降、自動 でマッピングされるため、取り込み処理のみ で荷受登録が完了。



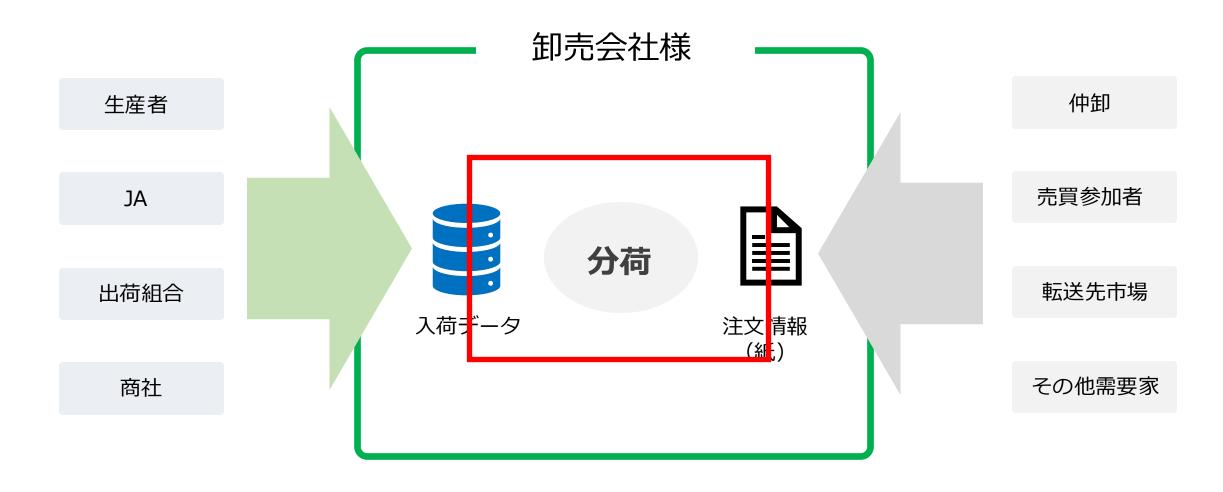


基幹流通を中心に流通全体へプラットフォームを拡大していきます



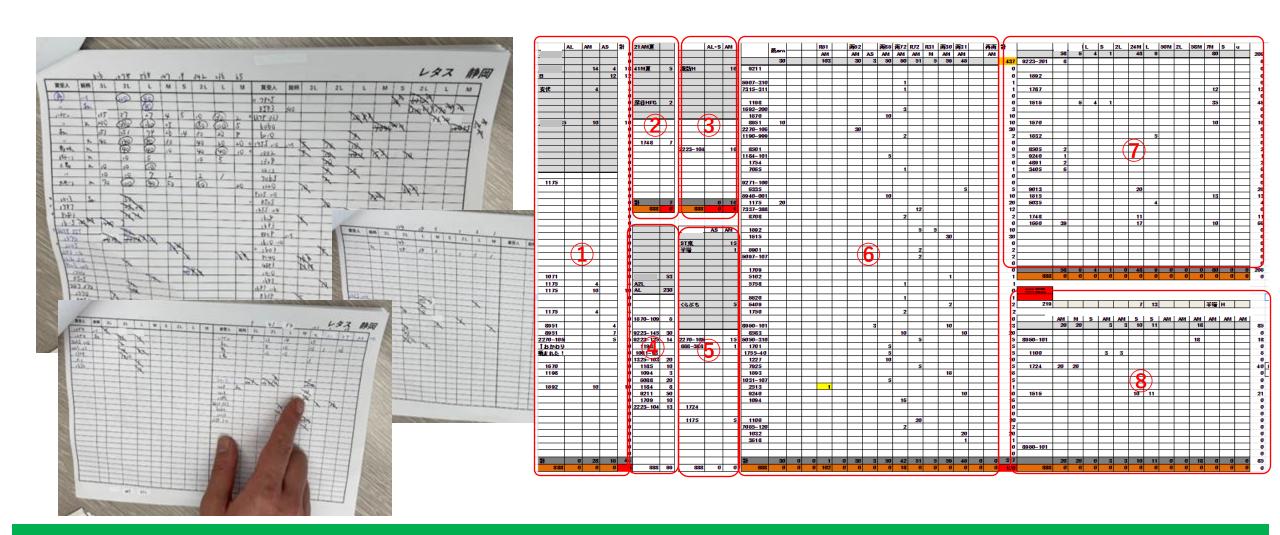


出荷者からの出荷データの連携が見えてきた中で、次のターゲットは市場の分荷業務のデジタル化



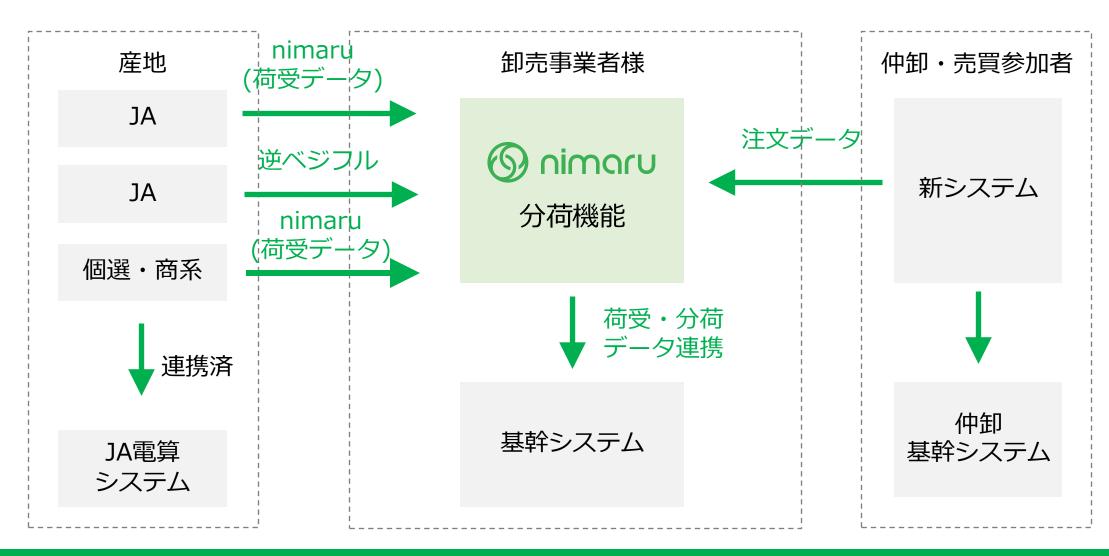


年度内に分荷システムのMVPを開発、検証すべく取り組み中





出荷者からの入荷情報、販売先からの注文情報がデータで入るようになると流通現場のDXが実現可能となる





ご清聴ありがとうございました



株式会社kikitori システム事業部

TEL: 03-6277-7833 FAX: 03-5544-9917

Email: info@kikitori.jp

HP: https://sam.nimaru.jp/

nimaruJAのウェブサイトは↓

